

TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会 会報



昭和54年度卒 ユーモアたっぷりの渡部信雄氏が
秋田県大仙警察署長に就任



市民と地域の安全に取り組む渡部署長 (中央)

署員111人が勤務する秋田県大仙警察署(大仙市大曲日の出町)の署長に平成二十四年三月、本学卒業生の渡部信雄氏(昭54産福卒)が就任した。秋田県内の警察職員は2,349人だが、一線署の署長に該当する所属長級の警視は50人弱。そのうちの一人が渡部氏だ。学生時代はゼミと体育会の少林寺拳法に明け暮れたが、気は優しく力持ちを地でいく気さくな署長さんである。

住民の安心・安全を守る警察官。日夜奮闘する彼らをまとめるのが渡部氏だ。能代高校から「都市計画を学びたい」との希望を持って本学に入学。卒業後は、秋田に帰ると決めた渡部氏は、秋田県警に奉職した。巡査、巡査部長、警部補、警部を経て平成二十年、晴れて警視に昇進。地道な努力が結実した。三月の署長就任時の訓示が人となり物語る。① 笑いがあり、それでいて頼もしい、和やかな職場にしよう ② 勉強して、能動的な仕事をしよう ③ 分相応の私生活を送ろう ④ 思いやる気持ちこそが基本である。「一付き漢字の頭文字をつなぐ」と「わたなべのおお」になる見事な創意工夫。昭和五十五年の任官からキャリア三十二年間で培った思いが四つの柱にユーモアとともに滲んでいる。

第六十五回全日本合唱コンクール全国大会が十一月二十四日、富山市芸術文化ホールで行われ、大学の部に二年連続、十七回目の出場を果たした本学が創部四十四年目にして初の金賞を獲得した。参加は全国九支部代表の十七校。過去十六回の出場成績は銀賞6、銅賞9、優良賞1だった。
本学は男女七十四人の編成。課題曲「受付」を作曲した森山至貴氏が見守る中、演劇的な要素が詰まった曲調を見事に演出した。自由曲はメンデルスゾーン作曲の「Erfolg(エリア)」から29、42、天国と地獄のような極端な



悲願の金賞を手にした混声合唱団(写真提供朝日新聞社)

全国大会で初の金賞 混声合唱団
創部44年目にして悲願達成

トーンを、メンバーはうまく気持ちを替え乗り越えた。いずれも指揮は石川浩氏、ピアノは伊藤真奈美氏が務めた。

課題曲の森山氏をして「拙作を演奏し、評価を受け、本当にうれしい」と感激させるほど、出来栄は素晴らしかった。金賞以外にも富山市教育委員会賞、また、大会終了直後にカワイ奨励賞を受賞した。
昨年三月、米国ニューヨーク・リンカーンセンターで開催された世界各国から寄せられた東日本大震災支援に感謝するための「東日本復興支援プロジェクト」に出演。演奏後、場内総立ちのスタンディング・オベーションを受けた感動が忘れられない。

学生代表の尾形知也君(情福マ三年)は「この舞台を用意してくれたプロデューサーら縁の下で力持がいたからこそ感動を味わえた。光が当たるためにどれだけ多くの人が支えてくれているのかを

大仙市は高齢化が著しい。平成二十三年度の高齢化率は31.6%(秋田県長寿社会課調べ)で、高齢者の交通事故死者数が全県の約16%に上る(平成24年11月末現在)。県下15の警察署のワーストと不名誉な状況下にある。中でも軽トラが絡む事故が目立つ。「何とかせねば」と一計を案じ、自ら考えたのが軽トラ事故防止のPR作戦。「一日署長」の警察犬に啓発チラシを配らせたり、幼稚園の運動会で園児、親、祖父母がメッセージを書いた大きなかき手渡す「軽トラ安全運動かきりレー」を企画したりと注意喚起に知恵を絞る。こうしたアイデアはマスコミからも好評だ。

アイデアマンでもある渡部氏の学生時代は、小松洋吉ゼミと少林寺拳法部の二本立て。小松ゼミでは21人のゼミ生が「現代社会と甘え」をテーマに報告書を作成した。卒業論文は「能代市河川(米代川とその水系)の水質汚濁現状」をテーマにし、ゼミ生10人と先生が輪転機を徹夜で回して、論文集の創刊号を作った。まさに汗の結晶

萩野学長著「感性のとき」韓国語版出版

十一月二十九日、大韓民国春川市のハンリム大学を本学の萩野浩基学長、交流に長年携わっている萩野寛雄教授、ユン・ヨンス准教授、野澤大教授から招待を受けた小笠原浩一教授、米山珠里講師が訪問した。本学とハンリム大学との「交流十一周年記念式典」に合わせ、萩野浩基学長の「感性のとき」(韓国語版)の「出版記念会」及び「ハンリム大学社会福祉学部設立三十



握手を交わす萩野学長と野澤教授(右)



韓国版の表紙

周年記念国際学術大会」が同時開催され、実現に至った。式典に先立ちハンリム大学ノコンイル総長を表彰訪問し、昨年の震災で本学学生に寄せられた同校教職員、学生の援助に対し、萩野学長が御礼を述べた。両校の学生交流は十一年で延べ三百人を超え、今後の両校の更なる交流促進に向けた意見交換が行われた。
なお、マルチリンガル(日・英・中・韓)の「感性のとき」(増補

創部50周年記念祝賀会
硬式野球部200人が参加

二度の日本一など数々の栄光に包まれる本学硬式野球部の創部五十周年記念祝賀会が十二月一日、仙台市内のホテルで開催された。今季限りでの引退を表明した阪神の金本知憲氏(平3卒)をはじめ現役とOBのプロ野球関係者十五人を含め、卒業生約二百人が参加。栄光と苦難に彩られた日々を収めた「思い出ビデオ」が映し出され、一同が感慨深げに見入った。司会を沢田真一氏(昭62卒、盛岡大付属高総監督)が務め、OB会の千葉幸喜会長(昭54卒)が開会のあいさつ。昭和四十七年十二月に野球部長に就任した大竹榮部



プロに進んだOB15人が勢ぞろい

長は「皆さんには感謝の気持ちでいっぱい」と謝意を伝えた。ステージ上にはプロ野球界に進んだOB十五人が勢ぞろい。代表として中田の和田一浩選手(平6卒)が「来年四十一歳になる。金本さんを目指して頑張る」と言えば、金本氏は「最近ゴルフ部に押し入れ気味で寂しい。野球部の発展を心から祈っている」とエールを送った。

通信教育部からのお知らせ

通信教育部卒業生に母校に帰っていただき、旧友や同窓生、先生方と親睦・交流を深めていただく企画「ホームカミングデー」を下記の日時で行います。
日時 6月1日(土) 12時30分開始
場所 本学ステーションキャンパスを予定
内容 職種や関心別の交流会、

如一行

一九六九年(昭44)に結成された本学の混声合唱団が十一月、全日本合唱コンクール全国大会で悲願の金賞を獲得した。創部から四十四年にわたる長い道のりであっただけに、関係者の喜びはひとしおだ。受賞後の十二月、本学音楽堂けやきホールで開かれた定期演奏会に参加して、合唱団が「取るべくして取った金なのだ」という思いを強くした。演奏中、ステージ上の七十四人の団員は「歌う」という目標に向かって一つの塊に化していた。指揮者の動きに合わせて、声に乱れがなく、静しもピタリと決めた。一体、こころで集中できる源は何かと考えたが、終盤、団長の挨拶を聞いて納得した。「さまざまなチャレンジし、どれだけの人が支えられているかを知った。演奏がどんなに称賛されても、団員から「周りが頑張ったから」と言うのを聞いて誇りに思えた。心から団長でよかった」と自然体で話す姿に感動すら覚えた。素晴らしい歌声は練習に限らず、ふだんの姿勢から育まれたようだ。客演指揮者の石川浩氏は「今までで最も難しい課題曲に挑戦したのに見事に克服した。この学生には不可能という言葉は存在しない」と言えば、ボイストレーナーは「会ったのが楽しかった。いつも真摯に音楽と向き合い、自身を高めようとする姿が見られるから」と団員の努力に賛辞を惜しまない。▼昨年三月、東日本震災で受けた世界中の支援に感謝の意を伝えるために訪れたニューヨークのリンカーンセンターでは、約六百人の聴衆から総立ちのスタンディングオベーションを浴びた混声合唱団。澄み切った歌声が出るのも周囲への感謝を忘れない謙虚な姿勢が成せる技なのだろう。そんな彼らには何度でも喝采を送りたい。(国見 太郎)

昭和58年 (1983年) 当時

短大から25年 創立25周年記念式典開催

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は四万三千人(通信を含む)を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズの25回目は、短大から二十五年後の一九八三年(同五十八年)を取り上げる。前年十二月に完成した一号館で、盛大な創立二十五周年記念式典が挙行された。

伊藤学長が祝辞

記念すべき創立二十五周年の式典は一九八三年四月二十一日、真新しい一号館大講堂(現大教室)を会場に開催された。一号館は八一年九月に着工、八二年十二月に完工した地下一階、地上七階建、鉄筋コンクリート造の近代的な建物。床面積は約7,500平方メートルで、四半世紀を祝うのに最適な舞台になった。伊藤道機学長は「現在、我が国において新進中堅の大学にまで発展した。あらためて先人のご苦労に対し深甚の感謝を捧げる」と祝辞を述べた。来賓は曹洞宗宗務庁

頑張ってます 今も昔も



創立25周年記念式典であいさつする伊藤道機学長

伊藤道機学長は「現在、我が国において新進中堅の大学にまで発展した。あらためて先人のご苦労に対し深甚の感謝を捧げる」と祝辞を述べた。来賓は曹洞宗宗務庁



5月19日の体育祭で行われた玉送りゲーム

この年から長年考えられてきた全学生を対象にした「総合保険制度」が誕生した。万一の事故に備え、事故の補償、入院費、通院費、学業費用、事故で他人に損害を与えた場合の補償などをセットにした任意保険であり、学生、保護者の安心感の醸成に少なからず寄与した。



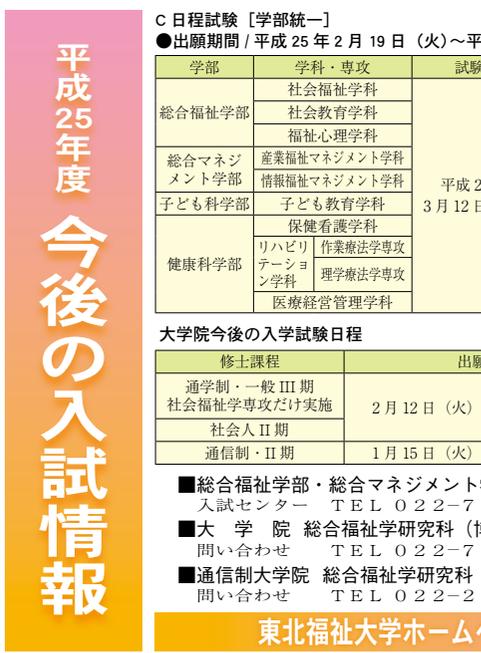
セミナーに参加した卒業生

OB・OGセミナーが十月二十日、本学ステーションキャンパス館で開催された。企業に勤める入社八年目から二年目の先輩八人に対し、将来の進路として企業に関心を持つ三年生約百人が参加した。



池田選手が史上最年少の選手会会長に選出された

プロゴルファーの池田勇太選手(平19社福卒)が1月5日、日本ゴルフツアー選手会の新会長に選出された。12月に27歳になったばかりで、史上最年少の会長になる。なお、10月のツアー、キヤノン・オープンで制し、今季初、通算十勝に到達した。



女子ゴルフ賞金ランク5位の佐伯選手

プロゴルファーの佐伯三貴さん(平19社福卒)が11月18日、福島県いわき市の五浦庭園CCで行われた女子ゴルフツアー、大王製紙エリエール・レディース最終日



今季楽天入りの斎藤隆投手

本学卒業生で、昨年まで大リーグでプレーしていた斎藤隆投手(平3社福卒)が、今季から仙台を本拠地にする東北楽天に所属する。

OB・OGセミナー 企業編に8人参加

平成二十四年度OB・OGセミナー(企業編)が十月二十日、本学ステーションキャンパス館で開催された。企業に勤める入社八年目から二年目の先輩八人に対し、将来の進路として企業に関心を持つ三年生約百人が参加した。キャリアセンターの金政信副センター長が「先輩だからこそ話を聞いて、双方向の会になればと思う」とあいさつを述べ、講師一人ずつが紹介された。

2年連続5度目のアベック優勝 ゴルフ部 信夫杯

ゴルフの第五十六回信夫杯争奪日本大学対抗戦と第十三回信夫杯争奪日本女子大学対抗戦が十月二十五、二十六の両日にわたり、千葉CC梅郷C(男子12校、7083名、女子10校、6245名)ともにパー72で争われた。男子は九大会連続通算十二度目、女子は二年連続五度目の優勝を飾り、男女同時優勝は二年連続五度目になる。

陸上競技部 第30回都全日本大学女子駅伝

第30回都全日本大学女子駅伝(10月28日、仙台市陸上競技場)仙台市役所前市民広場(38.6キロ)▽本学 2時間20分11秒 22位

日程試験 [学部統一] 出願期間 / 平成25年2月19日(火)~平成25年3月6日(水) [必着]

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
総合福祉学部	社会福祉学科	平成25年3月12日(火)	仙台(本学:国見キャンパス)	平成25年3月15日(金)	平成25年3月22日(金)
	社会教育学科				
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	平成25年3月12日(火)	仙台(本学:国見キャンパス)	平成25年3月15日(金)	平成25年3月22日(金)
	情報福祉マネジメント学科				
子ども科学部	子ども教育学科	平成25年3月12日(火)	仙台(本学:国見キャンパス)	平成25年3月15日(金)	平成25年3月22日(金)
	保健看護学科				
健康科学部	リハビリテーション学科	平成25年3月12日(火)	仙台(本学:国見キャンパス)	平成25年3月15日(金)	平成25年3月22日(金)
	作業療法専攻				
	理学療法専攻				
	医療経営管理学科				

大学院今後の入学試験日程

修士課程	出願期間	選考日	合格発表日
通学制・一般Ⅲ期 社会福祉学専攻だけ実施	2月12日(火)~2月25日(月)	3月2日(土)	3月13日(水)
社会人Ⅱ期			
通信制・Ⅱ期	1月15日(火)~2月14日(木)	2月23日(土)	3月5日(火)

■総合福祉学部・総合マネジメント学部・子ども科学部・健康科学部
入試センター TEL 022-717-3312 FAX 022-717-3332
■大学院 総合福祉学研究所(博士・修士課程)
問い合わせ TEL 022-727-2288 FAX 022-728-6420
■通信制大学院 総合福祉学研究所(修士課程)
問い合わせ TEL 022-233-2211 FAX 022-233-2212

平成25年度 今後の入試情報

東北福祉大学ホームページ http://www.tfu.ac.jp

同窓会便り①

催しの報告

秋田県大曲仙北会

大曲仙北会主催の東北福祉大学公開講演会が九月八日(土)、大仙市の「大曲プラザ」で開催され、八十八人が参加した。会の設立から五周年。同窓生は三百人を超え、福祉はもとより、医療、教育、企業などで活躍している。久米力会長(昭42社福卒)が「今後も更なる結束力を高めていきたい」とあいさつを述べた。大学からの近況報告は昨年二



秋田県大曲仙北会

母校訪問

谷ゼミ一期生

われわれの恩師、谷勝英先生が逝去され十年目となる今年、谷ゼミ一期生(七人)と二期生(二人)が六月十六日、仙台に参集した。初日は谷ゼミで各人が「懸命に何かを追い求めていたこと」や、谷先生の「君達は地域福祉の尖兵たれ」という格言を懐かしみ、学生時代にタイムスリップ。



当時と変わらぬ松の木で

川村実氏(昭54社福卒)

翌日は谷先生の菩提寺を墓参。生前の恩師に想いを馳せ、一同が感極まった。その後、先生のご自宅を訪ねた。温かく迎えて下さった奥様とわれわれ一期生の卒論が生前そのまま置かれた書斎を見て、師弟の絆を感じた。午後は大震災の被災地石巻・女川を訪れ、その情景に言葉を失い、改めて懐



谷ゼミOB会

富岡製糸場見学

群馬県同窓会会長

神小柴平幸(昭51社福卒)

十一月十七日、群馬県同窓会の試みとして有志による富岡製糸場の見学を行った。群馬県の世界遺産候補として期待されている所だ。

社会科の教科書にも掲載されているが、明治五年(一八七二年)に近代化のために最初に設置された機械製糸場。百年以上経た現在でも当時の建物がそのままの形で保存されている。



右から仲井氏・藤木氏・金沢氏

交流会には四十七人が参加。久米会長からは本学生の地元就職に對し、「可能な限り協力をしたい」とのお言葉を頂戴し、先輩方の熱い思いに感謝、感激だった。

金沢さん・藤木さんを送る会

青森県同窓会事務局

光星学院高等学校硬式野球部監督として全国高校野球大会三季連続優勝をなすとげ、青森県高校野球界の発展に大きく貢献された金沢成泰さん(硬式野球部OB、昭63社福卒)が、平成二十四年九月より茨城県明秀学園日立高等学校野球部監督として、また、八戸

三日月は久しぶりに母校を訪問。立派な建物等を見るにつけ隔世の感があったが、学生時代に谷先生と同じ研究室でお世話になった高橋美由紀先生にお会いすることができ、真摯で示唆に富むお話しに「もう一人の恩師」を感じた。

秋田県大曲仙北会

奥山智佳等氏(昭63社福卒)

藤澤健吾氏(平6産福卒)

十一月十五日(木)、二十数年ぶりに母校を訪問した。時代のニーズに合わせての変貌に、ただただ驚かされた。菅本同窓会会長、江尻教授をはじめ職員の方とも情報交換ができ、学校側



群馬県同窓会の皆さん



青森県同窓会の皆さん

さんは、新たな地で高校球児を育てることを力強く誓った。金沢さんにつばれ!

が大学OBに求めているものと我々の会で考えていたことがほぼ同じだったことが分かり、嬉しく感じた。今後は秋田県に就職を希望する学生と地元企業などのマッチングのお手伝いができればと強く思った。

大学は時代の変化を感じて、対応できる環境を構築し優れた人材を社会に送り続けている。これからもそうだと思う。変わらぬ坐禅堂を発見したときは少しホッとした。学食で昼食を食べながら、母校を見学することだと思えば、満足感いっぱいである。大学の関係者のみなさん、ありがとうございました。

心身障害者福祉研究部

石川克己氏(昭44社福卒)

心身障害者福祉研究部卒業生同窓会が、平成二十四年九月八日に北海道のホテルポルスタール札幌で開催され、北海道から静岡県までの元部員十九人が出席した。平成二十二年十二月に仙台で開催し、翌年は北海道で会おうと約束していたが、東日本大震災の影響もあり、二年ぶりに開かれた。



心身障害者福祉研究部

今回は、北海道の豊島弘さん(昭43社福卒)、齋藤綾子さん(旧姓・布施、昭43卒)、原一男さん(昭45卒)が幹事役として呼びかけた。津波で家を流された井上堅・真由子夫妻(昭45・46卒)、施設が被災した菊池昌三さん(昭46卒)をはじめ、多くが参加した。幹事からの歓迎挨拶で開会。参加できなかった元部員の近況が報告され、物故者となった後藤親彦さん(昭42卒)、平野英喜さん(昭

53 S 武永基礎ゼミ



新沼氏

昼間浩之氏(昭56社福卒)

十月六日(土)、昭和五十三年入学の武永親雄教授基礎ゼミ(一、二年次)の同窓会が開催された。卒業後、三十一年ぶりの再会で「松島大松荘」に集まったメンバーも五十三歳。この集まりを企画した背景には、一昨年の「3・11東日本大震災」でお母様と奥様を亡くされた若手陸前高田市出身の

当ゼミ同窓生、新沼典昭氏(昭56社福卒)を励ます会をやりたいとの思いがあったから。新沼氏へのメールと共に応援大漁旗を贈った。最後にこの場をお借りして二つほどお願いがあります。福祉大卒業生の方々の中で新沼氏にゆかり



53 S 武永基礎ゼミ同窓会

文化庁長官が来館

近藤誠一文化庁長官ご夫妻が十二月十一日、芹沢銈介美術工芸館を訪れ、作品を絶賛した。この日から長官の著書「ミネルヴァのふくろう」と明日の日本」刊行記念展覧会が十六日まで同館1階展示室で開催されることになり、初日に合わせての訪問だった。

オープニング・セレモニー終了後、5、6階に展示されている「きもの 芹沢銈介・模様の世界」展に立ち寄り、作品をまじまじと鑑賞。「大胆であり繊細。素晴らしい」と感想を述べた。また、陽子夫人は「建物も素敵」と夫妻揃って、すっかり気に入った様子で、仲睦まじく作品の一点一点を丹念に見て回った。



作品に見入る長官ご夫妻(右側)

なお、「きもの」展の1期は十月二十五日から十二月十六日まで。1階で猪口と飯茶碗・宮城県のやきもの併設展示が開催された。また、同二期は一月二十二日から三月二日までで、1、5階では芹沢銈介作品約70点や堤のお雛様と京都丸平の古今雛を展示する。会期中の火・土曜日はワークショップ「型彫りに挑戦!」が開催される。所要時間は30分から60分、材料費が二百円かかる。文化庁長官も絶賛した芹沢銈介作品。ぜひ、たくさんの方に鑑賞してほしいがスタッフの願いだ。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2013年		2014年
月	4月8日(月)～7月13日(土)		9月25日(水)～12月21日(土)
展示内容	〈特別展〉「芹沢銈介があつめた 外国の扉と椅子」 同時開催 〈企画展〉「芹沢銈介の作品-のれん-」は8/10まで		〈特別展〉「芹沢銈介 型紙の美」 同時開催 〈常設展〉宮城県のやきもの 堤焼・切込焼

開館時間 10:00～16:30 (入館は16:00まで)
休館日 日祝日、展示替え期間、入試期間(要問い合わせ)
入館料 一般300円、学生200円(高校生以下、本学学生・教職員は無料)
〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号 東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318 FAX 022-717-3324

同窓会便り②

総会の報告

函館地区に同窓会誕生

北海道南地区同窓会設立総会が十二月一日(土)、ホテル法華クラブ函館で開催された。四十数人が参加。同窓会代表幹事の渡部正一郎氏(昭45産福卒)から設立までの経過説明があり、承認後に総会が始まった。

山形県同窓会

第十回山形県同窓会が十一月十日(土)、四年ぶりに山形市の「ヤマコホール」で開催された。

第一部では阿部正孝准教授が「大地が揺れた、心が揺れた」と題して、記念講演を行った。多くの同窓生に混じり本学への入学を希望する高校生三人を含む総勢約四十人が参加し、熱心に耳を傾けた。

会場を移した第二部では総会を開催。山形県同窓会会長佐藤正知氏(昭41社福卒)の挨拶の後、吉田孝通信教育部課長補佐が大学の近況を報告した。その後、同窓会経過報告ならびに同窓会会則と役員改選が行われた。第三部の交流懇親会では同窓生同士が近況報告を行い、和気あいあいの雰囲気の中、学生時代の思い出に花を咲かせた。

栃木県同窓会

事務局猪野弘行(昭51社福卒)が十二月九日(日)、宇都宮市コッセールで学生生活支援センター長兼法務室長の福富哲也教授を来賓として迎え、開催された。



栃木県同窓会

懇親会では久しぶりに会う方が多く、旧交を深めながら、有意義な時間を過ごした。



北海道南地区同窓会

新潟県同窓会

平成二十四年度新潟県同窓会が九月十五日(土)、長岡市高齢者センター「けさじろ」で開催された。

市民公開講演会では、小山剛新潟県同窓会会長(昭51社福卒)と三林けい子事務局長(昭59社福卒)をはじめ多数の同窓生並びに一般市民が参加。新潟県OBで、新潟市児童相談所に勤める石橋一氏(昭62社福卒)が「青少年の虐待について考える」、高齢者総合ケアセンターこぶし園の小山剛氏が「高齢者の虐待について考える」をテーマに熱弁を振るった。

総会では、前年度の決算並びに事業報告、今年度の予算案審議と事業計画案が承認された。菅本昭夫同窓会会長(昭40社福卒)が東日本大震災の義援金に対する御礼と大学の近況報告を行った。

同窓生のみ懇親会は旧交を温めながら和やかに終了した。



新潟県同窓会

富山県同窓会

第八回富山県同窓会が、厳しい残暑が続く九月八日(土)、富山県民会館で開催された。本田孝夫会長(昭42社福卒)から、東日本大震災で被災した学生や教職員、またボランティアで活躍した学生に対して、お見舞いとねぎらいのあいさつがあった。

これに対して小松洋吉教授が温かい支援への御礼と、被災地の状況を交えてのあいさつを述べた。記念講演では、ボランティア支援課の鶴橋係長が、大学のこれまでの災害ボランティア活動のあゆみと、東日本大震災での活動状況、災害に備えるためのちよつとした工夫について話した。

東日本大震災の記憶がまだ新しく被害が甚大であったこともあって、出席した会員は、自身や地域でできる防災・減災について、熱心に質問した。



富山県同窓会

開催予告

《平成二十五年度総会》

青森県同窓会

第十四回総会・親睦会

日：七月六日(土)

時間：十五時

場所：三沢市

「ホテルグランヒルツたや」

国員会 退職者を励ます会

日：五月十八日(土)

時間：十九時

場所：青森市「おいらせ」

連絡先：石田・井上(浅虫温泉病院内)

TEL: 017-752-3004

人物登場

短大入学式の記事を寄贈

北野久仁子氏(愛知県)



北野さん(河北新報昭33年発行)

愛知県大府市在住の北野久仁子氏(旧姓：高橋、昭34社福卒)から嬉しい便りが同窓会事務局に寄せられた。短期大学入学式が載った河北新報の記事コピーが添えられ、貴重な資料に事務局一同を感激させた。以下に抜粋を紹介。

【本文】

過日は同窓会会報をお送りくださいまして誠にありがとうございます。毎回楽しみに拝読させていただいています。

ソーシャルワーカーオザイヤー受賞 小山剛氏(新潟県)



小山氏

新潟県同窓会会長の小山剛氏が、栄えある第一回「ソーシャルワーカーオザイヤー2012」を受賞し、日本ソーシャルワーカー協会から顕彰された。小山氏は全国小規模

福祉大の力 海野仁昭氏(栃木県)



海野氏

私が福祉大を卒業したのは、バブル前年の昭和六十年三月。福島県の事業団・東京都外施設の職員を経て、現在は全国的にも稀有な仏教会が運営する認可保育園で園長を拝命している。

今から三年前、自分のポロアパーに任んでいた仲間七人が、二十五年ぶりに仙台で再会。すっかり変わった仙台の街並や、素晴らしく

転居の際、入学したばかりの時の新聞記事が出てきましたので、お送りいたします。

晴れがましくも代表で宣誓文を読む榮譽に預かり、卒業時にも答辞を読み、時計と水晶の念珠を管長賞として賜りました。五十三年前のことで、昔々の記憶となっており。

元來体質は丈夫でなく、初めにして最後の便りになるかもしれせん。

大学の発展を陰ながら祈念しております。皆様様の健康とご多幸をお祈りしています。



北野さん

山形で、めんそーれ

渡辺博樹氏(昭61福心卒)



長瀬夫妻

山形市の北部、山形県立中央病院の東向かいに「Dining 美ら海」がある。沖繩料理の店だが、この店を切り盛りする長瀬店長夫妻が、何を隠そう東北福祉大OBだ。

沖繩グッズあふれるおしゃれな店内では、ソーキそばやゴーヤチャンプルー定食など定番料理から、夜は多彩な宴会コースも楽しめる。駐車場も広々！「沖繩」に

回想レク

佐藤尚人氏(宮城県)



佐藤氏

ユニークなレクリエーションに取り組んでいる卒業生がいる。佐藤尚人さん(昭54福心卒)だ。昔のことを思い出す「回想法」を取り入れたレクリエーションで、市民が撮影した昭和三十年代から四十年代の8ミリ映像を見たり、写真、音楽、物(道具、玩具など)に触れ、当時を思い出し、語り合う内容。

昔の記憶を呼び覚ますことで脳が活性化されることから、認知症ケアの手法に用いられているが、健常な高齢者にとっても物忘れ、認知症の防止になると言われる。佐藤さんは「介護保険を使わず、健康でいられたらと思う人は多いはず。どんどん広まってほしい」と普及に期待を込めた。

活動は東日本大震災が起きてやむなく中断。目下、再開準備を進めている。

問い合わせは佐藤さんTEL: 090(2883)1559

惹かれて私が初めて訪れた際に、まず店長の若いのにビックリ。聞けば、福祉大を卒業後、元々興味のあった料理の道へ進み、地元で開業したとのこと。奥さんは青森県出身で、お互い手話サークル「たけのこ」で意気投合し、今に至る。

これまで何度か沖繩から歌手を招いて、歌と踊りの店内ライブも開催。二人とも音楽活動にも取り組んでおり、ライブでは三線(サンシン)を弾きながら、息の合った歌声を披露してくれた。



Dining 美ら海

気軽に「うちなー」が楽しめるのでは是非出かけてみてはいかが！?

住所：山形市青柳1578-13

事務局から

ホームページを公開中

同窓会の開催予告、開催報告等の配信をはじめ、氏名・住所変更の手続きができます。

なお、氏名・住所変更の際には会員番号が必要となります。(宛名氏名の右下に掲載)

ホームページアドレス：
http://www.tfu.ac.jp/alumni

短文

寄稿して頂きました方々、ありがとうございます。スペースの関係上、記事をカットせざるをえなかったこと、ご了承ください。なお、表彰・入賞した方、個人または同窓生に関するニュースは大歓迎です。ご協力のほどよろしくお祈りします。

連絡先：本学同窓会事務局

TEL: 022(233)3111

FAX: 022(233)3113

メール: dousou@tfu-mail.tfu.ac.jp